

令和3年度

# 事業報告書

法 人 本 部  
千 歳 敬 心 苑  
池 袋 敬 心 苑  
浦安市障がい者福祉センター  
敬 心 ゆ め 保 育 園

社会福祉法人 敬心福祉会

# 令和3年度事業報告書

## 目 次

	頁
1 社会福祉法人敬心福社会 経営理念 . . .	1
2 令和3年度事業報告 (はじめに) . . .	2
3 第1部 法人本部 . . .	3
4 第2部 千歳敬心苑 . . .	10
5 第3部 池袋敬心苑 . . .	17
6 第4部 浦安市障がい者福祉センター . . .	25
7 第5部 敬心ゆめ保育園 . . .	30

## 社会福祉法人敬心福社会 経営理念

わたくしたちは、少子高齢社会における地域福祉の拠点たる使命を自覚し、次に掲げる理念の基に永続的事業の経営に取り組めます

- 1 いつも敬う心で人権と尊厳を守り、利用者(おとしより・障がい者・児童) に接します
- 2 ひとりひとりの利用者にとって最もふさわしい生活を追求し、利用者と家族が満足するサービスの提供に努めます
- 3 法人・施設の持つ機能を活かし、地域社会への貢献に努めます
- 4 常に健全で活力ある経営と民間社会福祉事業としての先駆性・独自性に努めます
- 5 常に職員の資質の向上と待遇の改善を図り、いつも明るくさわやかに働く施設を目指します





第1部  
法人本部  
目次

	頁
1 令和3年度 . . .	3
理事会及び評議員会の開催状況	
2 役員名簿・評議員名簿 . . .	4
3 法人組織図 . . .	5
4 法人の沿革 . . .	6
5 法人経営会議の開催状況 . . .	7
6 その他本部事業 . . .	9

## 令和3年度 事業報告（はじめに）

令和3年は、新型コロナウイルス対策としてワクチンの接種から始まり、6月・7月に接種が本格化し、その効果もあり、感染者数は8月中旬をピークに減少しております。そのなか一年延期された東京オリンピックが開催され、無観客とはいえ感動的なシーンがお茶の間に届けられ、テレビの前で応援されたかたも大勢いらしたと思います。しかし、その後はウィルス新株の出現により、暮れから急激に感染者が増加し、私共の施設でも感染者が数十名を超える事態となり、救急搬送が出来ず、入院先が決まらないという、非常に厳しい状況となります。比較的人口の多い首都圏・関西圏だけでなく、日本各地で医療の逼迫に苦しめられることとなります。しかし、職員・関係者皆さんの献身的な努力により小康状態を保ち、緩やかに日常を取り戻しつつあります。ただし、現在も利用者・職員の家族等から感染者、濃厚接触者が出たとの報告が入っております。

職員には、そのような厳しい状況が毎日続くなか、利用者の健康、さらには自分自身の健康をまもる努力には、頭が下がります。本当にありがとうございました。

その後、コロナの再拡大とともに国際的な紛争・ウクライナの戦争という悲しいニュースが届き、今このときにも砲火がやむことはありません。後世の方が今年をどのように評価されるのか、「東西冷戦・先進国と発展途上国」第二次世界大戦後の緊張関係が再び訪れるのか、国際関係は激動の時代に突入するのか懸念されます。

翻って、昨年決算は、千歳・池袋でのコロナ対策借入金、合わせて一億円を実施し黒字となっております。今年度は各施設（保育園は資金残高について行政指導があります）・全体でも資金収支ではおおむね黒字となります。コロナ禍の中、施設長・職員の努力により、安定的な決算となります。また、賞与についても多少の増額を実施いたしております。ただ、世界情勢の影響を受け、各種の消費財・耐久財の価格上昇と調達状況の変化が始まっております。令和4年度の経営が、経済環境の変化により、どの程度影響されるか、非常に注意しながらの舵取りになるものと考えております。

しかし、取り巻く環境が悪ければ悪いときほど、経営の安定的な継続を図るためにも、さらなる努力を忘れずに、職員とともに、敬う心を、必要とする方たちに届け、利用者・職員と笑顔で挨拶する日常を作り出したいとおもいます。

今年度の関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます、また、来年のこの時期に、明るいご報告が出来るように願っております。

令和4年5月  
社会福祉法人 敬心福祉会  
理事長 小林 光俊

# 1 令和3年度 理事会及び評議員会の開催状況

開催日（場所）	出席者数	主な内容
第1回理事会 令和3年5月19日（水） 午後3:00～午後3:50 ホテルグランドヒル市ヶ谷 翡翠の間	理事 5名 （欠席2名） 監事 2名 （欠席0名）	《議案》
		第1号議案 令和2年度事業報告について
		第2号議案 令和2年度計算書類等の承認について
		第3号議案 次期役員候補者について
		第4号議案 定時評議員会の招集について
		第5号議案 社会福祉充実残額について
		第6号議案 施設運営規程の一部改定について
		《報告》
		第1号 監事監査の実施報告について
		第2号 評議員選任・解任委員会の実施報告について
第3号 財務会計に関する支援業務実施報告について		
定時評議員会 令和3年6月10日（木） 午後3:00～午後4:15 ホテルグランドヒル市ヶ谷 珊瑚の間	評議員 8名 （欠席3名） 理事 7名 （欠席3名） 監事 2名 （欠席0名）	《議案》
		第1号議案 令和2年度計算書類等について
		第2号議案 理事・監事の選任について
		第3号議案 社会福祉充実残額について
		《報告》
		第1号 評議員選任・解任委員会の実施報告について
		第2号 監事監査の実施と意見書について
第3号 令和2年度事業報告について		
第2回理事会 令和3年6月10日（木） 午後4:25～午後4:45 ホテルグランドヒル市ヶ谷 珊瑚の間	理事 6名 （欠席1名） 監事 2名 （欠席0名）	《議案》
		第1号議案 理事長の選定について
		第2号議案 常務理事の指名について
第3回理事会 令和4年3月18日（金） 決議の省略（定款第26条第2項による）	理事 6名 （欠席1名） 監事 2名 （欠席0名）	《議案》
		第1号議案 令和3年度補正予算について
		第2号議案 令和4年度事業計画について
		第3号議案 令和4年度予算について

## 2-1 役員名簿

定数 理事6～7名、監事3名（令和4年3月31日現在）

	役職名	氏名	就任月日（任期）	主な経歴
1	理事長	小林 光俊	令和3年6月10日 ～令和5年6月	学校法人敬心学園 理事長
2	理事	柳澤 均	令和3年6月10日 ～令和5年6月	常務理事
3	理事	佐藤 宏美	令和3年6月10日 ～令和5年6月	敬心ゆめ保育園 園長
4	理事	原田 佳明	令和3年6月10日 ～令和5年6月	永和総合事務所代表・税理士
5	理事	紅葉 真幸	令和3年6月10日 ～令和5年6月	日本児童教育専門学校 事務局次長
6	理事	肥田 淳	令和3年6月10日 ～令和5年6月	浦安市障がい者福祉センター センター長
7	監事	齊藤 幸司	令和3年6月10日 ～令和5年6月	齊藤会計事務所所長・税理士
8	監事	村尾 俊明	令和3年6月10日 ～令和5年6月	元日本社会福祉士会会長・現相談役

任期の終期は、令和5年度の定時評議員会の終結時（令和5年6月）

## 2-2 評議員名簿

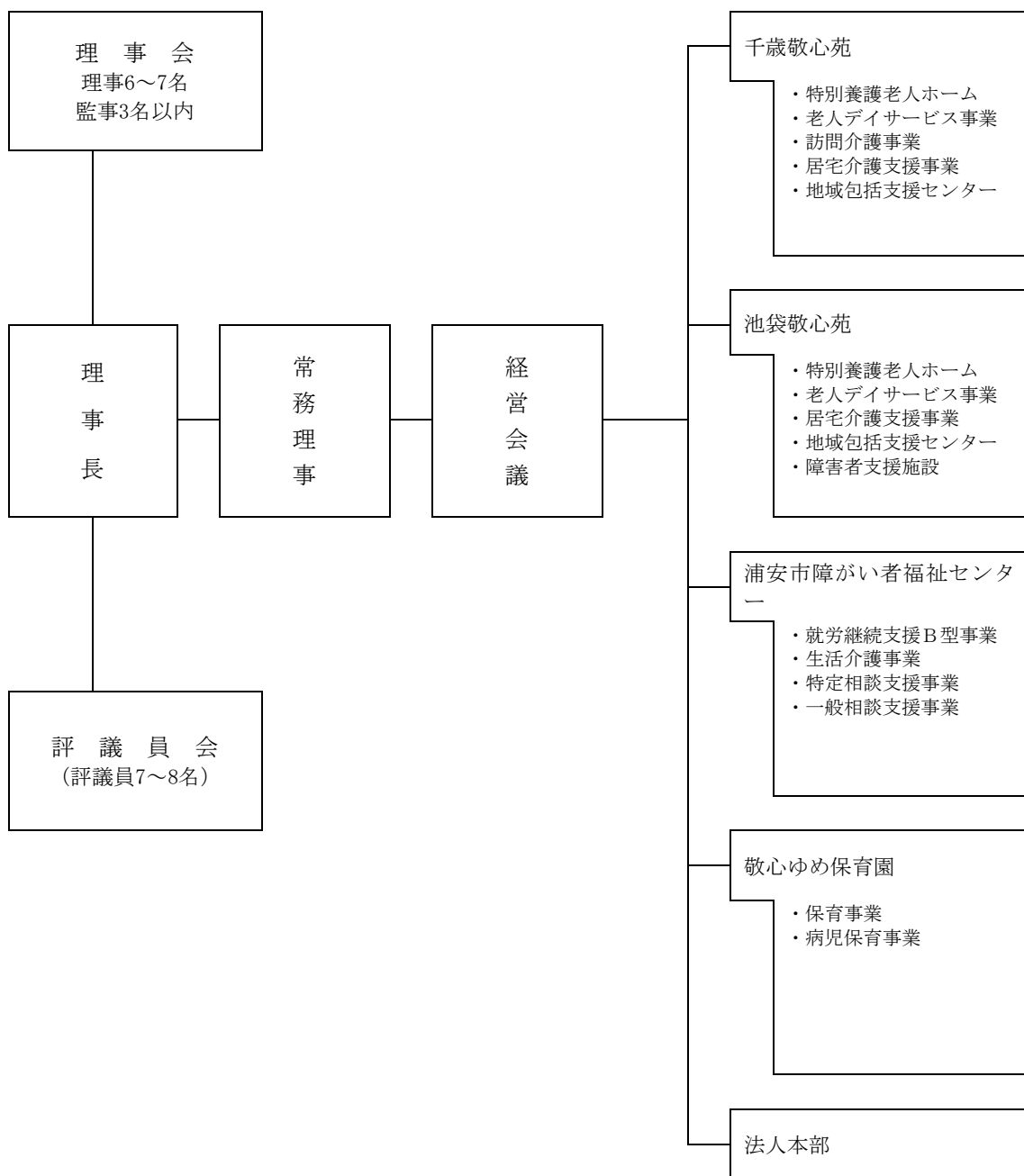
定数 7～8名（令和4年3月31日現在）

	氏名	就任月日（任期）	主な経歴
1	内野 滋雄	令和3年6月10日 ～令和7年6月	（福）三徳会 理事長・医師
2	多久島 耕治	令和3年6月10日 ～令和7年6月	（福）都心会 理事長・弁護士
3	鈴木 武夫	令和3年6月10日 ～令和7年6月	元 東京都参事
4	宍戸 安夫	令和3年6月10日 ～令和7年6月	世田谷区給田町会 会長
5	蟻塚 昌克	令和3年6月10日 ～令和7年6月	立正大学社会福祉学部 教授
6	鈴木 恵子	令和3年6月10日 ～令和7年6月	民生委員・児童委員・保護司
7	児玉 裕司	令和3年6月10日 ～令和7年6月	日本陶芸倶楽部 理事長
8	魚津 亮太	令和3年6月10日 ～令和7年6月	（社福）恩賜財団東京都同胞援護会 総務部長

任期の終期は、令和7年度の定時評議員会の終結時（令和7年6月）



### 3 社会福祉法人 敬心福社会 組織図



## 4 法人の沿革

平成	8	年	2	月	15	日	社会福祉法人 敬心福祉会 設立
平成	9	年	4	月	14	日	特別養護老人ホーム「千歳敬心苑」設置認可・開所
			6	月	1	日	老人短期入所事業「千歳敬心苑」開始
			7	月	1	日	老人デイサービスセンター「デイ・ホーム千歳」開所
平成	11	年	4	月	4	日	「給田在宅介護支援センター」開所
平成	12	年	10	月	1	日	「給田介護保険サービス」事業開始
平成	14	年	5	月	1	日	「給田ヘルパーステーション」開所
平成	15	年	11	月	1	日	「浦安市障がい者福祉センター」の運営受託
平成	17	年	4	月	1	日	特別養護老人ホーム「池袋敬心苑」設置認可・開所 老人短期入所事業「池袋敬心苑」開始 老人デイサービスセンター「デイホーム南池袋」開所 「ふくろうの杜在宅介護支援センター」開所 「ふくろうの杜介護保険健サービス」事業開始 身体障害者療護施設「雑司谷」開設 身体障害者短期入所事業「雑司谷」開始
			10	月	1	日	「雑司谷デイサービスセンター」開所
平成	18	年	4	月	1	日	「烏山あんしんすこやかセンター」開所 「ふくろうの杜地域包括支援センター」開所 「スワンカフェ&ベーカリー新浦安店」開設
平成	20	年	7	月	1	日	「浦安市身体障がい者デイサービスセンター」受託
平成	21	年	4	月	1	日	豊島区障害者施設入浴サービス事業運営受託
平成	22	年	1	月	1	日	ふくろうの杜地域包括支援センターを 「ふくろうの杜高齢者総合相談センター」に名称変更
平成	23	年	4	月	1	日	浦安市知的障がい者通所授産施設、浦安市知的障がい者通所更生施設及び浦安市福祉作業所を、就労移行支援、就労継続支援B型及び生活介護の各事業へ移行
平成	24	年	4	月	1	日	身体障害者療護施設「雑司谷」を、障害者支援施設（施設入所支援、生活介護）へ移行
平成	25	年	3	月	31	日	「スワンカフェ&ベーカリー新浦安店」閉店 「浦安市身体障がい者デイサービスセンター」指定管理期間満了
平成	26	年	4	月	1	日	敬心ゆめ保育園 開園
平成	29	年	4	月	1	日	敬心ゆめ保育園 病児保育事業 開始
平成	31	年	3	月	31	日	豊島区障害者施設入浴サービス事業 期間満了
令和	3	年	4	月	1	日	浦安市障がい者福祉センターの指定管理更新に伴い、 「一般相談支援事業」開始

## 5 令和3年度 経営会議の開催

回	開催日	開始時刻	場所	会議内容	備考
1	4月21日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の3月決算見込み、予算執行状況の確認</li> <li>評議員の選任解任委員会報告</li> <li>賃金規程の是正報告</li> </ul>	定員8名 参加8名
2	5月7日 (火曜日)	10時	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体及び各施設の決算について確認</li> </ul>	定員8名 参加7名
3	5月19日 (水曜日)	16時	ホテルグランドヒル市ヶ谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設3月4月の月次報告</li> <li>コロナ・ワクチン接種の報告</li> </ul>	定員8名 参加7名
4	6月17日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設5月の月次報告</li> <li>コロナ、ワクチン接種の報告</li> <li>永年勤続表彰について</li> </ul>	定員8名 参加8名
5	7月21日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設6月の月次報告</li> <li>コロナ、ワクチン接種の報告</li> <li>障がい者雇用について(基準6名)</li> <li>浦安市の実地指導への報告</li> </ul>	定員8名 参加7名
6	8月18日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設7月の月次報告</li> <li>コロナ感染者・濃厚接触者の報告</li> </ul>	定員8名 参加7名
7	9月22日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設8月の月次報告</li> <li>船橋市の指導監査、書面・電話により実施(指摘事項無し)</li> <li>コロナ感染者・濃厚接触者の報告</li> </ul>	定員8名 参加8名
8	10月20日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設9月の月次報告</li> <li>定年延長について</li> <li>コロナ感染者・濃厚接触者の報告</li> </ul>	定員8名 参加8名
9	11月17日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設10月の月次報告</li> <li>障がい者雇用対策の実習面談会にて千歳2名、池袋2名就労移行実習へ</li> <li>賞与について</li> <li>コロナ感染者・濃厚接触者の報告</li> </ul>	定員8名 参加8名

10	12月17日 (金曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設11月の月次報告</li> <li>順天堂大学医療看護学部より、来年度実習依頼</li> <li>コロナ感染者・濃厚接触者の報告</li> </ul>	定員8名 参加7名
11	令和4年 1月19日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染拡大により少人数にて開催</li> <li>各施設12月の月次報告</li> <li>コロナ感染状況</li> </ul>	定員8名 参加3名
12	3月2日 (水曜日)	15時30分	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染拡大により、2月17日から3月2日に変更し、少人数にて開催</li> <li>各施設令和4年1月の月次報告</li> <li>コロナ感染状況</li> <li>江東区障害者福祉センターについて</li> </ul>	定員8名 参加4名
13	3月18日 (金曜日)	15時	学園本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設2月の月次報告、世田谷、池袋ともにクラスターの影響が大</li> <li>臨時処遇改善について</li> <li>コロナ罹患者への対応について</li> <li>コロナ感染者・濃厚接触者の報告</li> </ul>	定員8名 参加7名

経営会議の参加メンバー（令和4年3月31日現在）

理事長 小林 光俊      常務理事 柳澤 均      理事 原田 佳明

ゆめ保育園      浦安市障がい者福祉センター      千歳敬心苑  
園長 佐藤 宏美      センター長 肥田 淳      施設長 山口 晃弘

池袋敬心苑      法人本部事務局  
施設長 齋藤 隆弘      事務局長 中村 純

## 6 その他事業報告

### 1 永年勤続表彰事業 対象者 38 名 支払額 1,520,000 円

番号	名 称	表彰 人数	金 額	備 考
1	千歳敬心苑	12 名	500,000 円	
2	池袋敬心苑	12 名	500,000 円	
3	浦安市障がい者福祉センター	7 名	310,000 円	
4	敬心ゆめ保育園	7 名	210,000 円	
	計	38 名	1,520,000 円	

### 2 東京電力（株）架設送電線路契約（千歳敬心苑） 2,107,675 円

平成 8 年 4 月より東京電力（株）との間にて、標記契約を締結し、現在に至る。

線下補償料の推移 2,740 円（平米単価）➡2,790 円（平成 10 年）➡2,845 円（平成 12 年）➡2,788 円（平成 14 年）➡2,760 円（平成 16 年・現在）×763.65 m<sup>2</sup>

≒2,107,675 円

### 3 障がい者雇用納付金 2,350,000 円

・常用雇用労働者の総数 年間延べ人数 3,197 人

・必要な法定雇用障がい者人数

3,197 人×2.3（令和 3 年 2 月までは 2.2）／100 により計算 60 人

・法定雇用障がい者の延べ人数（年間） 60 人

・実際の雇用障がい者延べ人数（年間） 13 人

差 引 47 人

・納付額の計算 47 人×50,000 円=2,350,000 円

### 4 役員退職金の支給 3,000,000 円

・常務理事 小川 博幸

平成 29 年 3 月 1 日理事に就任（平成 28 年 8 月より理事長補佐）、令和 3 年 6 月退任に伴い役員等報酬規程により金 3,000,000 円を支給する。

### 5 浦安市指定管理事業 23,420,000 円

事業の詳細は、第 4 部 「浦安市障がい者福祉センターきらりあ」参照。



第2部  
千歳敬心苑  
(東京都世田谷区給田)

目次

		頁
1	はじめに . . .	10
2	特別養護老人ホーム千歳敬心苑 . . .	11
3	デイ・ホーム千歳 . . .	13
4	給田ヘルパーステーション . . .	14
5	給田介護保険サービス . . .	15
6	烏山あんしんすこやかセンター . . .	16





# 1 はじめに

昨年度に続き、令和3年度はコロナ禍でさらに厳しい一年になりました。

特養2階フロアで今年2月に発生したクラスターは、ご利用者の生活を一変させただけでなく、尊い命まで奪っていきました。

約2年、コロナ禍で、施設ご利用者は自由に外出することもできなくなり、ご家族に面会することさえ制限をかけています。私たちはずっと葛藤していました。愛するご家族に会えない。会わせないという制限を、私たちに決める権利などあるはずがない。しかし、今回クラスターを経験し、コロナウィルスというものが、どれほど恐ろしいものか痛感しました。どれだけ対策をしても、次々と感染が拡大していきます。感染したご利用者は重症化し、起きることも、食べることも、飲むこともできない。救急車を要請しても、受け入れる病院が見つからない。朝の10時に到着した救急隊が、受け入れ先が見つからず、帰ったのは夜の19時過ぎでした。入院することすらできないのです。これまでに経験したことのない恐怖を感じました。そして、次々と職員も感染し、介護にあたる職員がいない。平時では考えられない人数、考えられない過酷な勤務のなか、職員たちは必死に闘いました。最終的に、ご利用者44名、職員16名が感染し、クラスターは収束しました。

このような恐怖を、二度とご利用者、職員たちが味わうことのないよう、できる限りの感染予防対策をしていきたいと、職員全員が、強く強く思っています。

そのような厳しすぎる一年のなかで、職員たちは、創意工夫をしながら、本当によく頑張ってくれました。

特養では、敬心オリンピックをはじめ、規模を縮小しながらも、イベントを企画し、ご利用者に楽しんでいただくよう努めました。多職種連携により、健康管理に努め、コロナ禍でありながら、稼働率98.17%を実現しました。ショートステイも、コロナの影響を受けながらも、サービスの質の向上及び安全対策に努め、稼働率97.34%を達成しました。

デイサービスは、ヘルパーステーションとの人事交流を、在宅サービス課全体の人材育成と位置づけ、経験値を上げることにより職員のスキルアップを実現しました。

ヘルパーステーションは、収益は十分ではなかったものの、ご利用者宅に伺うというリスクの高い環境のなか、登録ヘルパーとのコミュニケーションをしっかりと図り、感染を出さなかったことで十分評価に値すると思います。

居宅介護支援事業所は、職員間の情報共有に努め、より密なコミュニケーションを図ってきました。話し合い、学び合い、ケアマネジャーの個人個人のスキルアップにつながってきています。

地域包括は、総合相談の対応力向上を目指し、ケース検討を繰り返し行い、職員一人ひとりの意識と知識が向上するように努めてきました。十分でない職員配置で、巨大地域を見ていくことは容易ではありません。職員たちの努力と使命感に頼っている状況です。

コロナ禍で厳しい運営だったにもかかわらず、職員たちは必死に頑張ってきました。どんなに苦しい環境でも、知恵を出し合い、力を合わせ、なんとか乗り越えていく彼らを、心から誇りに思います。

令和4年5月  
千歳敬心苑 施設長 山口 晃 弘

## 2 特別養護老人ホーム 千歳敬心苑

(指定介護老人福祉施設 定員：80名 併設型短期入所生活介護 定員：12名)

### (1) 特別養護老人ホーム

#### ① 重点方針の実施状況

---

『「千歳敬心苑の新・幸せ指標」をコロナ禍でも負けずに実現する』、という目標を掲げ、コロナ禍でもできるサービスを模索、検討し実現へ向けて取り組みました。一例として、生き生きデイサービスの再開、オンライン面会の実施、看取り期における面会の実施、敬心オリンピック 2021 開催があり、これらの活動の結果、多くのご利用者から喜びと満足の声を頂きました。日課、趣味活動など、個別ケアの推進は、引き続きの課題となりました。

『多職種連携を強化し、ご利用者の生命、生活、尊厳を守る。』、という目標へ向けては、定例会議の他、生活相談員、ケアマネジャーが中核となり、必要に応じ多職種で協議する機会を設けました。特に、看取り期にあるご利用者・ご家族への配慮として特例で面会できる仕組みを設けたことは、残された時間の中で大切な人との時間を共有し、気持ちを整理して頂くことができる貴重な支援となりました。一方、「知らない。聞いていない。」といった情報共有の不備から連携が滞ることもあり、伝達ルートや情報共有手段の見直しを図りましたが、引き続きの課題として残りました。

『千歳流アメーバ経営で、各グループがひとつの組織として独立した運営を目指す。』という目標に対しては、推進役となるリーダー層の理解不足から、全体での取り組みに繋げることができませんでした。

#### ② その他目標の達成状況

---

令和3年度稼働率 98.17%を達成しました。(目標稼働率 97.5%)

#### ③ 年度総括

---

コロナ禍の面会・外出制限等、多くの規制がある中で、ご利用者のQOL向上に繋がる活動が難しい一年でした。特に、令和4年2月からの約一カ月は、コロナウイルスクラスターの影響が大きく、人員不足の中でご利用者の生命を守るために全員で結束して戦いました。通常の運営が困難な中でも年間目標稼働率を達成できた根底には、施設長を中心とした健全な組織運営があり、多職種の連携があったからこそその成果と捉えております。サービスの創造・定着は引き続きの課題となりましたが、各イベントでご利用者の満足の笑顔、イキイキ感を目の当たりにし、人生に楽しみや生きがいが必要であることを再認識できました。感染防止対策等の作業量増加、体調不良による欠員も重なり日常のケア不足を改善できなかつたこと、サービスの質を高めるために職員が学び、成長する機会を十分に設けることができなかつたことは、継続して取り組みます。

## (2) 併設型短期入所生活介護

### ① 重点方針の実施状況

---

サービスの継続利用を獲得する上でも、入・退所時のADLに変わりがなく、いつも通り自宅に戻られ、ご家族が考える「当たり前の生活」を維持出来るようサービスの提供をしてきました。

安心・安全を継続していく事で信頼に繋がり、怪我や入院を境にADLに変化があっても、現状を理解しながら在宅生活の維持に繋がるよう、その都度、介護計画書を作成しご家族にも書面で確認して頂きながらサービス内容を協議してきました。

新規利用の方については、コロナ禍であっても事前に訪問が出来る事が増え、自宅での生活環境を確認したり、日常生活の様子を伺い、施設サービス自体が初めての方には、生活の様子が思い描きやすいよう対面で伝えてきた事で、利用に対する不安の軽減に多少なりとも繋がり、結果、再利用にも繋がったと考えています。

### ② その他目標の達成状況

---

滞在中のサービスの提供では、日常生活の介護以外にもフロア内で企画された季節ごとのイベントや機能訓練指導員による体操の時間などにも参加を勧め、楽しんで頂きました。

滞在中の様子は退所の手紙に記載し、イベントでの様子など楽しんで過ごして頂いた事を報告すると共に、自宅に戻られてからの話題になるよう写真を添えて伝えていました。

新規利用の方は特に慣れない環境に圧倒され、混乱している方も多く、言葉使いや声の掛け方、周囲の環境を整える事をケアワーカーと共に進めてきた事で、翌日には表情に変化が見られる事もありました。ご利用者個々に寄り添い、不安感の増長から事故を誘発させないよう配慮していく事にも心掛けてきました。

### ③ 年度総括

---

稼働については、令和3年4月から令和4年1月までの間、目標稼働に届かない月は3回あり、入院や施設入所などサービスの終了者が重なった事で最終的に97.34%に留まりました。

令和4年2月・3月は、施設内でのクラスター発生により、サービスを見合わせる方が多く、施設内が落ち着いた3月にも「大事を取り」と利用のキャンセルが続き、両月共に79%台で終えており、年度通して目標稼働に届かず前年度と同程度の数値で終えました。

新規利用者の案内については、2月を除いて毎月1～4名の方にご利用して頂きました。

大半の方々が再利用の申し込みを頂き、徐々に環境や生活のペースにも慣れ過ぎて頂きました。

コロナ禍で利用をキャンセルされる方がいる一方で、独居や主介護者家族の生活の維持の為にサービスの利用が必要である方も多くいる事を再確認する年度になりました。

在宅サービスの一部として、他事業所や担当ケアマネジャーとも情報の共有を図り、今後の利用申し込み数や稼働の向上に繋がるよう心掛けていきます。

### 3 デイ・ホーム千歳

(指定通所介護 定員：42名 認知症対応型通所介護 定員：12名)

#### ① 重点方針の実施状況

---

コロナ禍の影響は令和3年度にも尾を引き、2月には職員が濃厚接触者となり欠勤が多く一時縮小営業を余儀なくされてしまいました。このような影響から年間の稼働率の目標は達成できませんでした。

上半期目標 65%→実績 64% 下半期目標 73%→実績 68.9% 年間目標 69%→66.54%  
ただ、そのような中でも年間契約者数は52名となり、例年と変わらない人数の契約ができました。これは広報活動として、新たに季刊誌等を配布し活動内容をアピールした成果であり、困難ケースに対応できる職員の介護の質を評価して頂いている結果であると思われます。

#### ② その他目標の達成状況

---

人材育成としては様々な取り組みを行ってきました。ヘルパーステーションとの人事交流では、在宅における限られた環境でのサービス提供を通じ専門職としての経験値を上げることに成功しています。職員を小グループの班に分け、毎月各グループで個々の業務内容を細かく振り返るミーティングを行っています。お互いの得手不得手や業務に対する姿勢等を共有し、職員が能力を発揮するための仕組みを作りました。

ご利用者の活動としては、感染症対策を優先した内容にはなりましたが、その様な中でもコロナ禍だからこそ発案された新しい企画にも取り組み、ご利用者からの高評価を得ています。

#### ③ 年度総括

---

今年度もコロナ禍の影響を多大に受けた一年となりました。特に年度初めにワクチン接種が始まったことで、好スタートがきれなかったことや、年度末に事業所内でも感染者や濃厚接触者が発生したことで縮小営業になったこと等、厳しい状況で通常どおり運営を続けることで精一杯という感想です。この様な状況でもご利用者に楽しんで頂くことと、しっかりと利益を上げることを忘れずに現場の職員は努力してくれたと思います。また、人材育成においても工夫をこらした仕組みを作り実践しております。

## 4 給田ヘルパーステーション（訪問介護事業所）

### ① 重点方針の実施状況

---

年間売上目標は月平均 4,000,000 円としていましたが、人材不足である現状を考慮して上半期 3,500,000 円下半期 3,800,000 円と下方修正しました。新規の受け入れを積極的に行い、上半期の目標は達成する事ができました。下半期は利用者数も増え（4月時点 87 件→11月 100 件）現場としては多忙を極めていました。しかし新規の依頼内容がデイの送り出しや迎え入れ等の短時間で単価の低いサービス内容が多く目標を達成することができませんでした。施設入所等により短期間で終了してしまったり、コロナ禍の影響による人手不足も目標未達の要因となっています。

### ② その他目標の達成状況

---

サービスの質が高く、ご利用者の目線に立ったサービス提供を目指して努力してきました。日々の事務作業の煩雑さや、コロナ禍の影響もありなかなかモニタリングの訪問が出来ませんでした。しかし登録ヘルパーとの情報交換ではスマートフォンの活用も定着し、迅速で正確なやり取りを交わすことができ、新たなニーズや問題点の早期発見につながっていると感じています。

デイサービスとの人事交流は今年度でしっかりと定着しました。はじめはコロナ禍の打撃を受けたデイサービスの売り上げ補填が主な目的でしたが、現在では人材育成の仕組みとして確立することができました。

### ③ 年度総括

---

コロナ禍での影響は今年度も多大なるものがあり、非常に苦しかった印象が残ります。特に年度末に事業所内でも陽性者と濃厚接触者がでたことで、請求に関わる事務作業にも影響があり、今後の業務分担、職員体制の見直し等課題が山積していることを痛感しました。また、かねてから続いているヘルパーの人材不足や高齢化に伴う社会情勢の変化を考えると、今のままでは質を担保することと売り上げ目標達成の両立がますます厳しくなってくる実感があります。

来年度は人事異動もあり新しく加わる職員もおりますので、個々の能力を最大限に活かし厳しい状況を乗り越えていきたいと思っております。

## 5 給田介護保険サービス（居宅介護支援事業所）

### ① 重点方針の実施状況

---

年間を通して32～34件程度の担当件数を維持する事ができ、新規相談も継続してみられていたことから、稼働状況としては目標通り推移できました。

プラン作成においては、様々な事情を抱えるご利用者やご家族に対して、心に寄り添った支援を意識し作成しました。しかし、介護保険のサービスに偏った傾向は依然としてみられていたことから、多様な社会資源を活かしたインフォーマルなサービスを取り入れたプランの立案に努めていくことで、さらにより良い成果を得られると思います。

### ② その他目標の達成状況

---

今年度も昨年に引き続きコロナ禍での支援が続いたことから、感染対策の徹底（時間の効率化・Zoom等の活用）を意識した各事業所間の連携となりました。感染リスクは継続して高い状況にはありましたが、ご利用者に対するサービスへの影響は最小限に抑えられていたことから、昨年よりも事業所間の連携は図れたと思います。

また、事業所内の担当ご利用者における情報の共有や事例検討については、積極的に行うことができました。しかしながら、共有後にその後の支援における経過を確認することまでは行えていなかったことから、課題を残した結果となりました。来年度も引き続き対応の強化に努めていきます。

### ③ 年度総括

---

今年度もコロナ禍でのご利用者・ご家族への支援を行ってきましたが、年度末に事業所内感染が発生したことで、事業運営に対し大変困難な状況が続きました。その状況下においても、互いのご利用者やご家族が孤立せず、各事業所間におけるサービスへの影響に対しても最小限に抑えられたことから、職員全員で協力し合えた結果だと感じています。

ただし、本来であれば今年度の目標としていたケアマネジメントにおける個々のスキル強化の一環として、研修等を活用した様々な計画を検討していましたが、ほとんどの内容を実行することができなかったことから、悔いの残る一年でもありました。

来年度もコロナ禍における影響は継続する可能性はありますが、それを言い訳にせず、より良い事業体系を形成すべく、事業所一体となって新たな取り組みに努めていきたいと思えます。

## 6 烏山あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）

### ① 重点方針の実施状況

---

重点目標の1つ目は「地域への理解を深め、繋がりを強くする」で、地区内の自主グループやサロンなどの活動拠点13か所に訪問して活動内容、実施状況を確認、得た情報をまとめたマップ、紹介ファイルを作成し、情報更新に努めました。また、広報紙を年間4回発行し、自主グループやサロンの活動内容を掲載、参加者のインタビューなど、読んだ人が前向きになれる情報を発信しました。

重点目標の2つ目は「総合相談の対応力を向上する」で、所内で36回のミーティングを開き、「相談援助の基本視点に則って支援を行う」ことに重きを置いたケース検討を繰り返し、職員への意識づけを行い、実際の支援に活かせるよう働きかけました。複数人でケース検討を行うことで、支援者としての傾向に職員自身が気づき、他の職員からの助言による学びを得る機会を作ることができました。

重点目標の3つ目は「予防ケアマネジメントの質を向上する」で、10か月間で8件のケアプラン点検を行いました。具体的には、リ・アセスメント支援シートを用いての詳細な情報収集、収集した情報から導き出した課題の整理、ケアプランへの落とし込み作業を行い、利用者自身が前向きに取り組める内容の提案、活用できる社会資源の発見、自立支援の重要性の再確認等の効果が得られました。

### ② その他目標の達成状況

---

一昨年度は一時的に相談件数が減少したり、緊急事態宣言により事業実施が滞ることがあり、地域へのPRの機会が極端に減りました。このことを踏まえ、昨年度は感染予防策を講じつつPRの機会も減らさない工夫として、地区の商店、コンビニ、新聞店、医療機関、薬局等へ広報紙配布と、移動販売会場における出張相談、ミニ講座などのイベント開催を行いました。PRの機会を積極的に持った効果か、年間相談件数は13281件に増加しました。

### ③ 年度総括

---

感染症の流行が収まらず、誰もが不安や戸惑いを感じる中でも、「あんしんすこやかセンターへ相談すれば、いいアドバイスが受けられるのではないか」、「あんしんすこやかセンターへ相談してよかった」と地域住民の方に思っていたいただけるような、安心して相談できる窓口の運営に努めました。

事業所内、訪問先、講座やイベントの開催時も常に可能な限りの感染予防策を講じ、安全な事業運営を心掛けました。

年度内に取り組むべき事業を全て滞りなく実施できたのは、職員一人ひとりの努力と、使命感によるものと考えます。





第3部  
池袋敬心苑  
(東京都豊島区南池袋)

目次

	頁
1 はじめに . . .	17
2 特別養護老人ホーム池袋敬心苑 . . .	18
3 デイホーム南池袋 . . .	20
4 ふくろうの杜介護保険サービス . . .	21
5 ふくろうの杜高齢者総合相談センター . . .	22
6 障害者支援施設 雑司谷 . . .	23



# 1 はじめに

新型コロナウイルス感染症の影響を色濃く受けた令和2年度がまるで序章であったかのように、令和3年度はそれ以上の影響を受けた一年となりました。

令和2年度に給付された約20,000千円のコロナ関連補助金も、令和3年度は期待できないことが想像に難くない状況であったため、罹患防止対策を強化して臨みました。

一年の間に緊急事態宣言が複数回発出される中、日々薄氷を踏む思いでこの新型コロナウイルス感染症と対峙して参りました。第3四半期までは職員に罹患者が数名発生しましたが、その影響は最小限に留めることができました。しかし、年が明け令和4年となった1月、特養フロアでショートステイご利用者の罹患が発覚したことを皮切りにクラスター発生となりました。

令和4年3月7日にクラスター終息となるまでの間、ご利用者延べ29名、職員延べ16名の計45名が罹患し、在宅サービスを中心に一部サービスの休止や利用控えにより、その影響は甚大なものとなりました。

罹患者のほぼすべてが無症状であり、現在も健やかに過ごしていることは不幸中の幸いでした。

この新型コロナウイルス感染症のクラスター発生は、ご利用者に提供するサービスを圧縮させて頂きましたが、少ない職員に大きな負担を強いることとなり、ご利用者やご家族にとっても、職員にとっても想像以上に過酷を極めるものでありました。

そのような状況下で、部門横断的に職員が協力し合い、励まし合い、施設全体で歯を食いしばって堪えつつも、「コロナのせいにしない」というマインドを強く持ち、結果として事業活動収支差額をプラスで終え、多額の修繕積立を履行できたことは、高評価に値すると感じております。

令和4年度事業計画書にも記しましたが、この新型コロナウイルス感染症と対峙する経緯に於いて、施設全体としての「新型コロナウイルス感染症 罹患防止対策」と罹患者が発生した場合の「事業継続計画（BCP）感染対策版」および「感染症罹患者発生時の対応マニュアル」が確立され、それが確実に浸透し本日現在も有効に運用されていることは、収穫として評価したいと感じております。

望まない状況からではありますがこのコロナ禍で得た多くの経験を、ご利用者に対するサービスの質の担保や職員が安心して、意欲を維持して働くことができる施設環境整備に繋げ、「前進」を続けて参ります。

令和4年5月  
池袋敬心苑 施設長 齋藤 隆弘

## 2 特別養護老人ホーム 池袋敬心苑

(指定介護老人福祉施設 定員：82名 併設型短期入所生活介護 定員：10名)

### (1) 特別養護老人ホーム

#### ① 重点方針の実施状況

---

令和3年度も続いていたコロナ禍で、ご利用者にとって「快適」や「ハッピー」に制限は出来てしまいましたが、その中でもオンライン面会だけでなく、対面式面会を導入したことで短い時間でもご家族との時間を過ごしていただくことができました。また、コーヒーボランティアの受け入れを継続し、ほっと一息のつける笑顔溢れる穏やかな時間を提供することができました。

職員の自己実現については、副主任や委員会活動を中心とし新たなアイデアや活動が活発に提案され実現に向けて取り組むことができました。施設内活動に留まらず、地域ニーズに応えるべく「さあ！行こうプロジェクト」を立ち上げ、買い物送迎支援について外部機関と連携した取組みが開始されています。プロジェクトには介護職員も参加し「介護の力」を地域に還元できるよう精力的に活動しています。また、ボランティア受入れに向けて「あなたと私を結ぶオリナスステーションプロジェクト」も活動を開始し、ボランティアを受け入れるだけでなく、池袋敬心苑職員が外部の活動へボランティアとして参加することができるような土壌づくりを始めています。

働きやすい職場環境の構築については、「多職種協働への理解」への積極的参加や他部署の参加機会も増やすことで互いの想いや役割等について学びを深める機会となりました。会議体の集合開催ができない事も多くありましたが、書面開催や会議体以外での情報共有、事前打ち合わせなどのやり取りが増え、時間の有効的な使い方の構築に繋げることができました。

#### ② その他目標の達成状況

---

嘱託医との連携、協力のもとインフォームドコンセントを設定し、最期まで自分らしく、そしてご家族の希望に寄り添う医療の提供及びお看取りを行うことができました。

看護職員の積極的な委員会活動への参加により、「下剤に頼らない排泄」「新たな排泄方式の検討」などご利用者に負担の少ない介護を目指した取り組みを行いました。

罹患防止対策マニュアルが整えられたことで実習生を制限することなく受入れることができ、実習施設としての役割をこれまで通り果たすことができました。

#### ③ 年度総括

---

令和3年度は新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験し、ご利用者やご家族に不安や不便を感じさせてしまった1年となりましたが、他フロアや他部署との連携や協力を今まで以上に実感することのできる1年でもありました。「思いやりのやり取り」の大切さや温かさを感じることができ、施設全体が一丸となり乗り越えることができました。感染症対策への意識も更に強化され、「辛い時期を乗り越えた」という自信を持つことができたことが大きな収穫でした。

## (2) 併設型短期入所生活介護

### ① 重点方針の実施状況

---

ご自宅での生活の延長線上にあるサービスとして、室内をご自宅の環境に近づけるため置き型手すりの設置や畳マットの導入などの取り組みを行いました。また、情報共有及び個別機能訓練や生活リハビリを強化したことで心身機能の維持、帰宅後のスムーズな在宅生活への移行に繋がりました。

在宅サービス会議で地域ニーズや「ケアマネジャーからの視点」を共有することで、柔軟な入退所時間の設定や事前準備の簡素化などご利用しやすいサービスの形を作ることが出来ました。

ホームページや広報誌の積極的活動には至りませんでした。パンフレットを刷新し、よりショートステイサービスの内容をわかりやすくお伝えすることができるようになったことで、新たなご利用者の獲得に繋げることができました。

### ② その他目標の達成状況

---

持参される医療物品の専用袋を苑で個別にご用意することでご家族の事前準備の負担軽減だけでなく、預かり品の管理がしやすくなったことで職員の負担軽減にも繋げることができました。また、ご利用者からのクレームや要望だけでなく感謝のお気持ちをうかがった時には「Keishin SS Thread (敬心ショートスレッド)」としてフィードバックすることで職員のモチベーションの向上に取り組みました。

嘱託医やケアマネジャー、施設職員との連携によりショートステイご利用者のお看取り希望者の受入れを行うことができました。個別のご希望に対し「どうすれば実現できるのか」を今まで以上に考え取り組めたことは大きな収穫となりました。

### ③ 年度総括

---

新型コロナウイルス感染症のクラスターにより一時サービス停止とさせていただくこともありましたが、細やかな情報提供を行うことで再開後にはショートステイの利用控えをするご利用者はほとんどいませんでした。ショート担当委員会を中心にサービスの改善や創出に取り組んできた結果が表われたのだと捉えています。また、ショートステイをご利用されたうえで特養への入居を希望される方が増えていることから「選ばれる施設」となることが実現できていると実感することができました。

### 3 デイホーム南池袋

(指定通所介護 定員：35名 認知症対応型通所介護 定員：12名)

#### ① 重点方針の実施状況

---

介護サービスの質の向上についてですが、ご利用者一人ひとりに担当の介護職員を付けることで、ケアマネジャーへの経過報告を介護職員担当者が作成する形が出来ました。介護職員の意見がケアマネジャーに直接伝わり、他職種協働への一歩となり、ご利用者満足に繋がっていただくと考えています。介護保険制度におけるPDCAサイクルの理解を深める研修については、作成は出来ましたが、研修実施には至りませんでした。

続いて新型コロナウイルス感染症対策についてですが、少しでも安心してデイホーム南池袋をご利用出来るように、丁寧に対策や対応、現在の状況を報告させていただきました。

3つ目として必要とされる事業所作りについてですが、近隣の方々の入浴ニーズの増加に伴い、「入浴改革プロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトは気持ち良く入浴してもらう為の環境作りや、職員配置の見直し、安定的に入浴サービスを提供出来る仕組み作りを目的として取り組みを始め、今も継続してプロジェクトを進めております。また、ニーズの高まっている機能訓練の質の向上について、新たに機能訓練指導員を採用し、機能訓練のプログラム作成や、個別機能訓練加算の算定に向けた体制作り等をしてきました。さらに、職員間の情報共有を活発にする仕組み作りとして「気付いたことを共有・発信シート」を作成し、各職員が感じたこと気になったことを、素早くみんなに発信し、建設的な解決方法を導き出す新たな取り組みも始めることが出来ました。

#### ② その他目標の達成状況

---

新型コロナウイルス感染症の影響を受け続けてはおりますが、昨年度と比較して売り上げや稼働状況は良くなっています。その理由の一つはデイホーム南池袋の新型コロナウイルス感染症への対応を評価いただいた結果だと考えています。なかなか外出や社会参加への自粛や不安がある中でも、少しでも安心してご利用出来るよう感染状況や対応について、丁寧に説明させていただきました。

#### ③ 年度総括

---

今年度は変わらなければならない一年だったと感じています。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、どうやって安定的にサービスを提供し続けるか、社会福祉法人の使命である地域貢献、デイホーム南池袋をご利用されている方々のこれからの生活も支え続ける為に何が出来るのか。何をしなければならないのか。多様なニーズに応えられること、サービスの質の向上や新たなサービスの創造。こうしたことへの取り組みの一年であり、継続的に来年度も取り組んでいきたいと考えています。地域の方々が安心して地域での生活を継続していく為に、デイホーム南池袋に何を期待しているのかに目を向け続け、これからももっと地域に求められる通所介護事業所になれるよう邁進して参ります。

## 4 ふくろうの杜介護保険サービス（居宅介護支援事業所）

### ① 重点方針の実施状況

---

売上に関しては、売上目標は達成し、前年比も上回っており、稼働率も94%と高水準での売上を維持することができました。

介護保険の制度改正は、研修や説明会に積極的に参加し、事業所内で検討・議論・確認を行い意思の統一も図れたので、スムーズに移行することができました。今後も事業所内で相談し、統一した見解をまとめて行きます。

地域包括支援センターとの会議や、地区懇談会、地域の事業所との勉強会も2回開催することができ、連携強化や情報の共有を行うことができました。

研修等は、ZOOMを活用し、感染症対策に考慮し研修や勉強会に合計15回参加して、事業所全体としてレベルアップに取り組むことができました。

新型コロナウイルス感染症の流行等、事業継続が困難な状況ではありましたが、事業所内での罹患を防止することができました。

### ② その他目標の達成状況

---

業務の効率化等は、少しずつ取り組みを行っております。

来年度に向けての課題を抽出し、実現に向けての準備等に取り組みました。

豊島区主任介護支援専門員連絡会も、来年度は、介護支援専門員全体に対象を広げるべく再始動し、体制の構築を図る為、運営に携わっております。

委員会・会議等、コロナウイルス蔓延の中、開催できないこともありましたが、各委員会・会議等で委員長を務め、精力的に取り組むことができました。

### ③ 年度総括

---

売上目標は達成し、コロナウイルス蔓延の中、全職員が総力を挙げ、過去最高の売上額を計上することができました。

研修や地域との連携等にも積極的に参加し、地域の取り組みや、情報の共有等を行う事ができました。ZOOMでの参加が主となっていて、集合での研修はなかなか開催できませんでした。

年度初めは、介護保険法改正、その後はコロナウイルス対策に追われながらも、事業所として一丸となり、しっかりと対応することができました。

コロナウイルス対策の中で、施設全体への取り組みや、協力体制を構築し、施設の一員として一人一人が自覚を持ち、皆で力を合わせて協力する事ができました。

## 5 ふくろうの杜高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）

### ① 重点方針の実施状況

---

地域共生社会の実現のための地域住民、地域の関係機関との連携強化について

令和3年度から圏域に配置された第2層生活支援コーディネーターと月に1回の広報検討会議等で様々な地域の課題や介護予防について話し合いを重ねました。

月に1回の会議には地域の介護予防センター・CSW・区・第1層生活支援コーディネーターも参加しさらなる連携強化となりました。

「お散歩マップ」の作成や「弁当配布」、「だれでも食堂」などが地域内で事業として行われています。さらに通所B事業は区内30サロン中15サロンがふくろうの杜圏域にあり介護予防活動もさかんな地域となっています。

池袋敬心苑の「さあ！いこうプロジェクト」の活動の中の「買い物支援」プロジェクトでは、区、民生委員、第1・2層コーディネーターとの全体会議や実際の支援に参加しました。

### ② その他目標の達成状況

---

積極的なアウトリーチによる相談対応について

圏域内3か所の区民ひろばで計48回/年 出張相談を実施しました。

令和2年度に引き続き豊島区ウィズコロナハガキ返送者への対応や、3年に1度実施している実態調査後のアプローチ活動などを精力的に行い、地域の高齢者の実態把握に努めました。

地域の防災の集まりにも参加し、要援護者への対応を話し合いました。民生児童委員協議会や消防・関係機関と連携し、区の一般施策である救急医療情報キット配布も行いました。令和3年度は圏域で計277セット（区の総数1400セット中）の配布となっています。

### ③ 年度総括

---

令和3年度も相談が多く包括総合相談件数は3,573件となっています。

（令和元年度2,770件、令和2年度3,821件）

見守り支援事業担当に関しては、熱中症事業、ウィズコロナ事業に加え3年に1度の実態把握事業も重なり、民生児童委員からの報告や相談件数も併せて4,627件となりました。

地域住民、関係者への包括支援センターの認知度もあがり、今後ますます連携を強化し地域共生社会の形づくりの一翼を担っていきたいと考えています。



## 6 障害者支援施設 雑司谷

(施設入所支援施設・生活介護 定員 10 名 併設障害福祉サービス事業 定員：1 名)  
(地域活動支援センター 定員：10 名)

### (1) 施設入所支援施設・生活介護・併設障害福祉サービス事業

#### ① 重点方針の実施状況

---

重度化・高齢化するご利用者に適切に対応するとともに、職員が長く働き続けられる環境構築を進めていくため、『雑司谷すこやかプロジェクト』を立ち上げ継続検討を行える体制としました。新型コロナウイルスのまん延により会議等の実施が阻まれることも多い一年となりましたが、福祉用具の実機をレンタル使用しながらの意見交換が行えました。

日中活動プログラムの充実については『雑司谷いきいきプロジェクト』を発足、要望のあった日中活動をプログラムに取り込む仕組みづくりを推進しました。

「ネットスーパー活用」、「コーヒークラブ」、「スノーズレン」等の新たな取り組みに着手、現在定着したのものもあれば試行錯誤の最中のものもありますが、選べる活動の種類は徐々に増えつつあります。

またご家族とのつながり維持のために個別の作品を作って頂き、写真や手紙とともに送付する取り組みを行い、好評を頂きました。

#### ② その他目標の達成状況

---

地域行事への参加は叶いませんでしたが、あらたに「豊島区知的障害者支援事業所連絡会」に参画、外部情報の取得や意見交換など施設間交流の糸口としました。

研修機会の確保が困難になる中、紙面研修や視聴覚研修で代替する取り組みが生まれました。

#### ③ 年度総括

---

昨年度はご利用者にも新型コロナウイルスの感染者が出るなど、穏やかな日々のありがたみを痛感した一年となりました。

感染対策としての自宅待機などにより職員体制が整わない場面もそれなりにありましたが、各職員明るさを失わず、粘り強く助け合って少しずつ取り組みを前進させている様子が印象的でした。

職員の入替わりもありましたが、それを好機としてOJTの仕組みを一新し育成に生かすなど、今後につながる価値のある一年となりました。

## (2) 地域活動支援センター

### ① 重点方針の実施状況

---

感染対策を継続して行い、安心して通所頂ける環境づくりに努めました。計画相談支援事業所との意見交換などから、ご利用者が通所して来られている狙いの把握やご家庭の状況・家族関係の理解などが徐々にではありますが進みました。

一方、対外的なネットワーク網への参加は環境的な制約などもあり、なかなか進めることができませんでした。

医療的ケアのニーズがある方への支援も継続、コロナ禍により大事を取ってお休みの判断をされることもありました。通所を控えておられる間も連絡を取り合いながらご本人の様子を把握、ご家族の相談に適宜応じるなど、在宅中の不安払しょくに努めるとともに、スムーズに安心して利用を再開して頂けるよう取り組みました。

### ② その他目標の達成状況

---

日中活動プログラムの種類の充実は徐々に図っていったものの、地活ならではの企画を行うまでには至りませんでした。

また、日中活動内で職員とともに勉強会をやってみようという構想はありましたが、これも残念ながら形にするには至りませんでした。

### ③ 年度総括

---

地域活動支援センターは通所事業ということもあり、安全なご利用の確立を図ることと、入所施設のご利用者との交流機会の提供という点の間で苦慮してきた一年でした。

ご利用者にとっての居場所を守っていくことに精一杯となり、中身の充実にまで手が届かない場面も多くありましたが、一年を通じて感染者が出なかったことは大きな収穫となりました。

第4部  
浦安市障がい者福祉センターきらりあ  
(千葉県浦安市)

目 次

	頁
1 はじめに . . .	25
2 就労継続支援B型事業 . . .	26
3 生活介護事業 . . .	27
4 特定相談支援事業 . . .	28
5 一般相談支援事業 . . .	29



# 1 はじめに

令和3年度は新たな指定管理期間5年間の1年目でした。多機能型事業では市内の重度障がい者の受け入れ先を広げるため、生活介護の定員を5名増員して60名とし、就労継続支援B型は5名減の45名としました。また、相談支援事業も一般相談支援（地域移行・地域定着支援）を開始するとともに、委託相談事業所として計画相談だけでは解決困難なケースに対して継続的な相談支援を行い、民間事業所での受け入れが難しい遠隔地利用者を受け入れてきました。

このように新しい取り組みを始めたところですが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく残り、感染対策を第一に考えて活動に一定の制限を加えざるを得ませんでした。日常の感染対策を継続するとともに、きらりあを会場として7月に第1・2回目、今年2月には3回目のワクチン接種が行われました。その上で、9月には施設イベントである「きら☆ダーツ」を小集団ごとに行い、12月には2年ぶりのご家族を招いた「きらりあコンサート」を開催することができました。可能な限りご利用者に多様な経験をしていただくために、感染が広がりつつある時には外出活動を控えつつ小集団イベント行ったり、感染が抑えられている時にはコンサートを開催したりするなど、地域の感染状況をみながら制限の範囲を見直してきました。施設関係者に感染者や濃厚接触者も発生していますが、施設内感染が広がることはなく活動を継続できたことは幸いでした。

また、秋から冬にかけて継続的にボイラー交換工事、空調機器交換工事があり、市や施工業者と何度も打ち合わせを行いながら、活動に支障をきたさないようにしてきました。気温に敏感なご利用者もいる中で、何年間も暑い夏の故障時を乗り越え、交換修理中の真冬の寒さを耐え抜きましたが、今後は冷暖房の心配をすることなく快適に活動ができると期待しています。

その他、試行を継続している早朝利用サービスをはじめ、10月よりスタートした延長利用サービスもご家族の用事などの際にご利用いただきご家庭のニーズに対応をしてきました。

晴々と先が見通せる世の中にはなかなかありませんが、コロナ禍も3年目ということで完全な手探りではなく、これまでの経験を活かして、ウィズコロナの社会の中で、ご利用者のご家族のニーズに応えられるよう努力してまいります。

令和4年5月  
浦安市障がい者福祉センター センター長 肥田 淳

## 2 就労継続支援B型事業

### ① 重点方針の実施状況

---

#### (1) ご利用者が働きがいを持ち、より主体的に働ける職場づくり

ご利用者に合った作業量を準備したり、新しい作業や得意な作業を任せたりする中で、安定して作業に取り組んでいただくことができました。各自で作業の効率化に向けた工夫をしたり納期の確認をしたりするなど、ご利用者自身の意識に変化がみられています。

#### (2) 工賃の維持・向上

取引先からの信頼維持に努め、安定した作業量の受注と新しい作業種や取引先を増やすことができました。また、材料費などを定期的に取りまとめて確認することで、経費削減に努めました。クリーニングボイラー交換工事期間中の作業休止もありましたが、最終的には昨年度を上回る収益に繋がりました。

#### (3) 安心・安全な生活環境の維持

新型コロナウイルス感染防止対策を重点において、作業室内の常時または定期換気やパーティションの設置、マスク着用、手指消毒の奨励、体温や体調確認などを行いました。また、動線や視覚的に安心できる空間とするために、作業室内のレイアウト変更や物の置き場などを定期的に見直しました。

### ② その他目標の達成状況

---

#### (1) ご利用者が楽しめるイベントを企画、実施します。

昨年度同様、日帰り旅行や季節イベントなどは実施できませんでしたが、ご利用者の自主サークルの食レポのサポートを行いました。

#### (2) 社会生活上のルールやマナーについて伝え確認する機会を作ります。

グループごとの朝礼や月1回の全体終礼の際に季節や時事の話題に合わせ、ご利用者の皆さんに理解しやすいように伝えました。

### ③ 年度総括

---

令和3年度も感染防止対策により、外販や納品回収などを中心に制約の多い一年となりました。ご利用者のコロナ禍前に戻したい望みと社会情勢による不安を丁寧に受け止めながらの対応を心がけました。行事が少ない状況が続く中で、作業や健康面という就労に関わる大切な事柄に集中して取り組めたことは、ご利用者一人ひとりの理解を深め力を伸ばすことに繋がられました。

### 3 生活介護事業

#### ① 重点方針の実施状況

---

##### (1) 安心感が高まる支援

作業や自立活動を生活班ごとに行ない、ご本人をよく理解する所属班の支援員が、それぞれの特性に合わせて活動内容を日々調整しました。ご利用者が安心して過ごせるよう一緒に取り組み、きめ細やかな支援を提供しました。また、通常の利用時間外（9時前・16時以降）も受け入れを行ない、ご家庭の事情があった場合もご利用者が穏やかに過ごせる環境を整えました。

##### (2) 感染対策を講じながらも張りのある生活を送れる支援

年間を通して、多くの行事を企画し感染対策を行ないながら開催しました。事業所イベントとして、夏には輪投げや射的などを用いた「納涼祭」、冬にはご利用者それぞれの個性を生かした「万華鏡づくり」を生活班で分かれて実施し、皆で楽しく過ごすことができました。また、お花見や七夕、節分などの班ごとの季節イベントでも、ご利用者の明るい表情が多く見られました。

##### (3) 個々の支援員が向上心を持ちリーダーシップを高められる環境づくり

支援員のそれぞれが事業所内や班内での役割を持ち、リーダーシップを発揮する場面を作りました。また、各々が書籍を読んだり研修に参加したりすることで必要な知識や技術を習得しました。eラーニングによる全体研修を年に3回実施しました。

#### ② その他目標の達成状況

---

毎日、午前は「集中して取り組む時間（生産活動）」、午後は「ご利用者それぞれの目的に合わせて活動する時間（自立活動）」とすることで、メリハリのある生活を提供しました。生産活動では、ご本人の得意なことを生かした製品作りや軽作業のほか、新たに花植えや水やりなどの外作業にも取り組み、ご利用者が気持ちよさそうに体を動かし力を発揮する姿も見られました。

自立活動では、室内での活動と屋外での活動を組み合わせ、メリハリのある活動参加ができるようにしました。生活班ごとにご利用者の目標に合わせた活動や、音楽や創作、軽運動等の余暇活動を行ないました。

#### ③ 年度総括

---

感染対策をしながらの生活にも慣れていき、少しずつ活動の幅を広げることができました。ご利用者も、マスクの着用や手指の消毒など感染対策を意識した行動がしっかりできる場面が増えました。この一年も旅行や飲食を行うイベントは開催することが難しい状況でしたが、ご利用者やご家族のご理解とご協力をいただき、支援員もその時の状況に合わせてさまざまな工夫をすることで、日々の生活や活動を通してご利用者のたくさんの笑顔が見られた一年になりました。

## 4 特定相談支援事業

### ① 重点方針の実施状況

---

#### (1) 自己決定、自己選択ができる意思決定支援

定期的に所内で事例検討を行ったり、日々のミーティングの中で個々に合ったアプローチ方法を検討したりしました。またご利用者を中心としたチーム支援を行う為、必要に応じて担当者会議を開催し、より良い生活を送れるよう関係機関と連携を行いました。

#### (2) 必要な情報提供や迅速な対応

今年度から土曜日も開設し、ご利用者やご家族、関係機関との連携も含めて相談の機会を拡げることができました。また対面だけでなく、感染防止策として電話やオンラインも活用し、安心して話せる環境を整えました。

#### (3) 聞き取りやマネジメントを通して見えてくる地域課題の解決

緊急性の高い支援が必要なケースについては、拠点会議を開催して今後の方向性を確認し、地域課題を洗い出し、ご利用者やご家族が地域で安心して生活を送れる為の支援を検討しました。

### ② その他目標の達成状況

---

内容	件数
サービス等利用計画作成数	158
モニタリング実施数	517
担当者会議開催数	193
相談対応件数	9472

相談支援実務者会議	年3回
地域の関係機関との連携会議	年1回
自立支援協議会相談支援部会	年3回
事例検討会議（市内事業所連携）	年1回
事例検討会議（基幹相談支援センター主催）	年7回
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議	年3回

### ③ 年度総括

---

福祉サービス利用以外にも生活面での困り事や、将来の生活について等、様々なご相談がありました。日々の生活を安心して続けていくためにはご本人やご家族と一緒に課題を整理したり、多機関・多職種と連携したりと、より生活に寄り添った支援の必要性を感じた一年でした。



## 5 一般相談支援事業

### ① 重点方針の実施状況

---

#### (1) 地域移行対象者の把握と、社会生活復帰に向けたマネジメント

障がい者支援施設や精神科病院等に入所・入院中の方が対象となる中で、令和3年度は精神科病院から退院するケースを2件受けました。うち1件は退院に向けての住まい探しと、生活を支えるサービス調整を行っています。コロナ感染拡大の影響もあり、施設や病院への聞き取りなどは実施できていません。

#### (2) 地域移行、地域定着に取り組むための関係機関とのネットワークを構築

精神障がい者を対象としている事業所との連携を密に行い、一般相談の手法を学びながら実際の支援に当たりました。わからないことなどすぐに確認しながら進めることで、ご利用者にも安心してご利用いただける形作りができました。

#### (3) 不安、葛藤、希望に丁寧に寄り添いながら生活を組み立てていけるような支援

聞き取りを丁寧に行うこと、信頼していただける関係を作ること重点を置いた支援を心がけました。また、ご家族の要望や利用できるサービスの実情とのずれがある場合には、よりご本人の希望する生活に近づけられるような調整を心がけました。ご本人らしく生活を送ることができるようにご利用者自身の力をつけていく支援にも今後取り組んでいきたいと考えています。

### ② その他目標の達成状況

---

#### (1) 相談件数

内容	件数
サービス等利用計画作成数	2
モニタリング実施数	3
担当者会議開催数	3
相談対応件数	111

### ③ 年度総括

---

対象地域における地域移行の実情として、障害者支援施設からの退所のケースはなく、病院からの退院のケースも対象利用者の実数は限られていることがわかりました。病院側も実績を積んでいる事業所への依頼が主になっていることから、地域移行支援実績のある事業所との連携を通して取り組みの実績を積みながら、病院とのネットワークを構築していく必要性を実感しました。



第5部  
敬心ゆめ保育園  
(千葉県船橋市)

目 次

		頁
1	はじめに . . .	30
2	保育事業 . . .	31
3	特別保育事業 . . .	32



## 1 はじめに

令和4年3月、まん延防止期間に行われた第8回卒園式は、園にコロナの陽性者が出ている中での卒園式と言う事で黙式となりました。子ども達の歌声の無い卒園式は本当に味気の無いものとなりましたが、卒園証書を受け取る子ども達は、皆凛とした姿で感無量でした。その後23名の卒園児は、3校の就学先へと分かれ無事入学いたしました。

船橋市でもこの1年の間にコロナに対する関係機関の対応が大きく様変わりしました。保育活動に於いても制限が緩和され、感染防止対策をしていれば大抵のことは出来るようにもなり、子ども達の元気な姿が戻り嬉しい限りでした。

しかし、マスクのできない乳児(0歳~2歳)たちは、感染防止対策が完全ではありません。常に感染の可能性がある中で過ごしてきました。職員の感染リスクも考慮しフェイスシールドの着用も開始し、出来る対策は全て講じてきた甲斐あって、園での感染は大きく拡大することもなくいつも最小限に抑えられてきたことは、日々の努力の何よりの成果であると感じております。

コロナに翻弄され、諦めてきたことややらない選択をしてきた昨年とは違い、園児にも職員にも活気が戻った1年であったと感じます。

毎年着々とICTの活用が進み、保育士の業務負担軽減へと進化しています。また書類の電子化によりペーパーレス化も進めており、毎月発行される各種おたより等の保護者配付物もほぼ電子化され、スマートフォン等で見る事ができ、新しい業務の形が一段と構築された1年であったと思います。

保育内容について、子ども一人ひとりを尊重し丁寧な保育を揺らぐことなく一貫して実践してきました。優しく育つ子ども達を見ていると、その方針だけは今後も変えることはできないと実感しております。

敬心ゆめ保育園の保育は、職員の弛まぬ努力で少しずつ花開いてきたと感じます。これからの小さなことからコツコツと努力できる職員であって欲しいと思います。

不安や心配が多いコロナ禍ではありましたが、8年を迎えた令和3年度も無事終えることができました。関係各所の皆様をはじめ、園児保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に感謝しております。

令和4年、敬心ゆめ保育園の園舎外壁も塗装を済ませ、新たな気持ちで9年目を迎えます。今後ともご指導の程宜しくお願いいたします。

令和4年5月  
敬心ゆめ保育園 園長 佐藤 宏美

## 2 保育事業

### ① 重点方針の実施状況

---

(1) 新保育指針を遵守しながら子ども達の保育の充実を図る

・5領域を意識した活動や経験を通して豊かな心と健やかな身体を育むために構成された保育計画ではあったが、コロナ禍でのまん延防止期間や園に陽性者が発生するなど、保育活動に影響することが多かった。その為、実体験で行い活動や経験がやや不足する結果となった。

・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を見据え保育することができ、発達や育ちの面に於いても、個々に差がついている点が明確になり、重点的に改善方法を見出しながら関わりを持つことができた。

(2) 保育の質及び職員一人ひとりの専門性の向上のための取り組み

・会議・研修など、感染防止対策の一環として、情報共有としてICTの活用を充実させ、職員全体での活用効率も上がり定着させることができた。

・保育の質の向上を目指し、他職種間の連携と協力体制の構築を進めており、保健関係・食育関係の充実を図るための道筋が整ってきている。

また、リーダー職・副主任などの役割を明確化し、経験値に応じた課題の抽出を行った。

(3) 健全な職場環境の確立

・ワークバランスを意識した職場環境づくりに努めてきたことが、職員の安定的な定着に繋がり職員の離職率低下に結びついている。

### ② その他目標の達成状況

---

・離職者が少なく、未経験の新卒採用を行っても、園全体の経験年数を減らすことがなかった。その為令和3年度に初めてチーム保育推進費が加算されたことにより、職員の処遇改善加算に繋がった。

・近隣の市町村の待機児童の関係で、育児休業中の職員の復帰が難しいとされている中、2名の職員が復帰をしている。

### ③ 年度総括

---

今年度もコロナ禍の影響を受けて制限のある中での保育運営となったが、令和2年度に比べて規制が緩和されたり、コロナ陽性者の発生に伴う手順も構築されたりしたことで、焦らずに対応できるようになった。その為、保育の計画にも2段階で構成された活動内容が示されるようになり、出来ないではなく出来る方法へシフトできるようになった。

しかし、室内活動に於いては、合同保育や異年齢保育の機会を作ることが難しい状況であり年少児が年長児を見て育つ機会は激減している。

保育や保育士の質の向上のための情報共有などは、職員全体がICTを活用できるようになりコロナ禍であっても研修や会議などを行うことができるようになったことは大きな成果である。

### 3 特別保育事業

#### ① 重点方針の実施状況

---

##### (1) 延長保育事業における長時間保育の在り方

- ・働き方改革により保護者の延長保育利用が大幅に減る中、コロナ禍の影響も受け利用控えが増えている。園児にとっては良い事ではあるが、運営において微量ではあるが減収の影響が出ている。
- ・コロナ禍で合同保育ができない為、クラス単位で職員配置をすることによる、シフトが煩雑になると同時に、子ども同士関わりを持ちながら一緒に過ごすことができなくなっている。

##### (2) 病児保育事業体調不良児対応型保育の安心且つ安全な取り組み

- ・前年度の評価と課題を基に環境及び感染対策、基準等対応マニュアルの見直しを行い、職員に周知し運用している。
- ・職員等に向けた怪我を未然に防ぐ方法は、事故発生防止委員会で細かく報告及び分析を行うように徹底した事で、怪我や事故が僅かではあるが減少した。
- ・児童の家庭における保護者相談支援の窓口については、コロナ禍の感染者発生や感染防止対策で業務増大にて相談窓口の設置には至らなかった。
- ・アレルギー対応等については、園児のアレルギー児が増え対応が煩雑化した。そのため誤食等を防ぐためにも看護師と栄養士とクラス担任が連携し、丁寧に対応するシステムを構築することができた。

#### ② その他目標の達成状況

---

##### (1) 地域活動推進事業の課題の抽出と活性化

- ・異世代間交流の機会と方法の再検討については、実践に向けての問題点等を抽出し交流を目的とした基盤づくりに着手した。
- ・幼保小の連携の在りについては、コロナ禍の為なかなか取り組めていない。
- ・地域子育て世帯にあそび場の提供と相談システムの在り方についても、外部の方の出入りを制限していたこともあり、次年度以降への課題となった。

#### ③ 年度総括

---

延長保育事業や病児保育事業体調不良児対応型保育は、今年度も大きくコロナの影響を受け、手を付けられない状況となった。今年度の目標達成は叶わなかったが次年度への課題とし、しっかりと体制を整えていきたい。

地域活動推進事業においては、他園や学校との連携が必要不可欠となるが、どの関係機関もコロナ感染者の対応に追われタイミングが合わずに機を逃がし連携ができなかった。







# 社会福祉法人 敬心福祉会

## ～ 事業所一覧～

### 【〒157-0064 東京都世田谷区給田5-9-5】

- 法人本部事務局 TEL 03-5958-1165 FAX 03-5958-1210
- 特別養護老人ホーム 千歳敬心苑 TEL 03-3307-1165 FAX 03-3307-1140
- デイ・ホーム千歳 TEL 03-3307-2282 FAX 03-3307-1140
- 給田介護保険サービス TEL 03-3307-2598 FAX 03-3307-1140
- 給田ヘルパーステーション TEL 03-3307-2424 FAX 03-3307-1140

### 【〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-2-19 烏山区民センター2階】

- 烏山あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）  
TEL 03-3307-1198 FAX 03-3300-6885

### 【〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-7-8 オリナスふくろうの杜】

- 特別養護老人ホーム 池袋敬心苑 TEL 03-5958-1165 FAX 03-5958-1210
- デイホーム南池袋 TEL 03-5958-1206 FAX 03-5958-1209
- 障害者支援施設 雑司谷 TEL 03-5958-1176 FAX 03-5958-1210
- 雑司谷デイサポートセンター TEL 03-5958-1176 FAX 03-5958-1210
- ふくろうの杜介護保険サービス TEL 03-5958-1207 FAX 03-5958-1195
- ふくろうの杜高齢者総合相談センター（地域包括支援センター）  
TEL 03-5958-1208 FAX 03-5958-1195

### 【〒279-0042 千葉県浦安市東野1-8-2】

- 浦安市障がい者福祉センターきらりあ（就労継続支援B型事業・生活介護事業）  
TEL 047-350-8770 FAX 047-350-8766
- 相談支援事業 きらりあ相談室 TEL 047-350-8765 FAX 047-350-8775

### 【〒273-0002 千葉県船橋市東船橋3-15-8】

- 敬心ゆめ保育園 TEL 047-411-5725 FAX 047-424-7373